

第 57 回日本病理学会近畿支部学術集会のお知らせ

検討症例は、平成 24 年 4 月 16 日(月)抄録締切で受け付けます。配布用の HE スライド 55 セットと臨床経過用紙を事務局までお送りください。小さい標本などで配布不可能な場合は HE スライド 3 セットでも構いません。インターネット公開用のマクロ、マイクロ写真(PowerPoint ファイル: A4 縦あるいは jpg.ファイル)及び抄録(doc. または docx. ファイル)を事務局まで電子メール(jspk-office@umin.ac.jp)または CD-R(郵送)にてお送りください。なお、発表当日にご持参いただくスライドファイルは、PowerPoint 2003、2007 または 2010 で作成してください。演題申込みなどご質問は、事務局(jspk-office@umin.ac.jp)までお気軽にお問い合わせいたします。

今回の学術集会から日本病理学会 100 周年記念事業のご支援を得て、託児所を開設することになりました。託児を希望されます方は、4 月 16 日(月)までに上記事務局へお問い合わせください。

日時: 平成 24 年 5 月 12 日(土)

場所: 大阪市立総合医療センター

世話人: 小西 登 先生 (奈良県立医科大学)

テーマ: 卵巣腫瘍

モデレータ: 三上芳喜 先生 (京都大学)

参加費: 無料

～11:40 外科病理症例検討

11:40～12:40 休憩(幹事会)

12:40～13:10 支部総会・学術賞授与

13:10～14:10 特別講演

『卵巣癌研究の軌跡と新たな展開』

田代浩徳 先生 (熊本大学産婦人科)

14:10～14:20 休憩

14:20～16:30 病理診断講習会:『卵巣腫瘍の up-to-date: 表層上皮性腫瘍』

1. 卵巣腫瘍取扱い規約の概要と問題点・課題 安田政実 先生 (埼玉医科大学)
規約作成に携わった立場からその裏側を語る

2. 卵巣粘液性腫瘍 - The mystery 清川貴子 先生 (千葉大学)
表層上皮性腫瘍の中でも最も診断上の問題が多い腫瘍を概説

3. 卵巣腫瘍の診断のためのワンポイント

これだけは知っておきたい! 第一線のエキスパートからのアドバイス

TOPIC #1 病期 若狭朋子 先生(大阪日赤)

TOPIC #2 Grading 植村芳子 先生(関西医科大学)

TOPIC #3 インプラント 南口早智子 先生(京都大学)

TOPIC #4 免疫染色の有用性とピットフォール 伊藤智雄 先生(神戸大学)

TOPIC #5 転移性卵巣腫瘍 清川貴子 先生(千葉大学)

<送付先>

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学内

日本病理学会近畿支部事務局

Tel/Fax:075-251-5849 mail: kinpatho@koto.kpu-m.ac.jp